

CCBIは何を目指すのか

～日本国内の現状と教育の役割～

武蔵野大学 神吉宇一

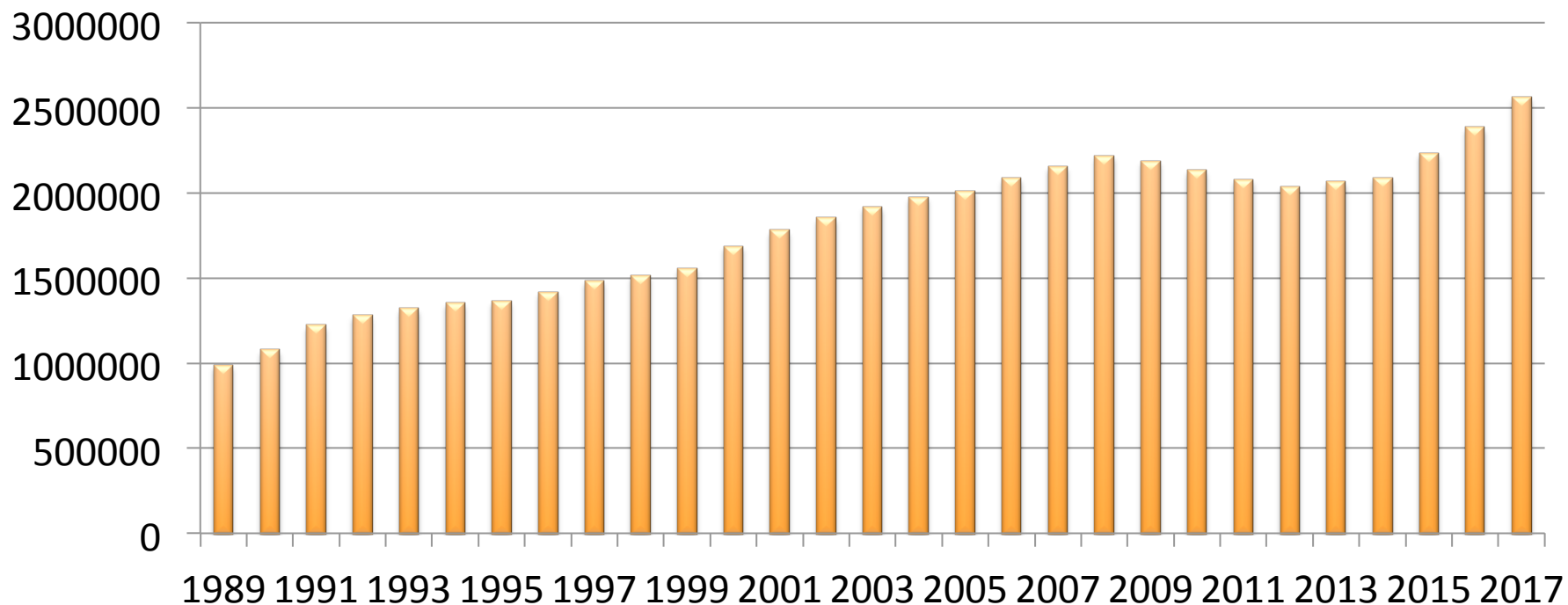
uichik1113@gmail.com

私の立ち位置

- **武蔵野大学教員**
- **(株) ラーンズ事業開発アドバイザー**
- **文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員**
- **地域日本語教育アドバイザー**

国内の外国人登録者／在留外国人人数

外国人登録者数/在留外国人人数



入国管理局統計より発表者作成

在留資格別の外国籍住民数

2001年		2015年		2016年	2017年
特別永住者	500,782	永住者	700,500	727,111	749,191
永住者	184,071	特別永住者	348,626	338,950	329,822
日本人の配偶者等	280,436	留学	246,679	277,331	311,505
定住者	244,460	技能実習	192,655	228,588	274,233
留学	93,614	技術・人文知識・国際業務	137,706	161,124	189,273
家族滞在	78,847	定住者	161,532	168,830	179,834
興行	55,461	家族滞在	133,589	149,303	166,561

1,759,625人(68.7%)

入国管理局統計より発表者作成

（日本語） 教育を取り巻く状況

- **「日本語教育推進基本法（仮称）」**
- **在留資格の「増設」による就労者の受け入れ**
→ **「移民国家」への道**
- **大学における「共修」**
→ **「国内の国際化・グローバル化」への道**

論点

- **クリティカルとは何か**
- **何のための言語教育なのか**
- **具体的にどのような実践を志向するか**

クリティカルとは何か

- 自分自身の思考の枠組みの捉えなおし
 - より良い社会を構想する際の「良さ」の追求
 - ことばによるやりとりを通じた、多様な他者との合意形成
-
- 思考すること→行動すること
 - 学習者も教師も

なんのために

- 共にこの社会を作っていく「仲間」として
- より良い社会を構想し，実現に向けて動く

- 基盤となる力を育てるための「ことばの教育」（視点・知識・スキル）
- 多様な当事者の「接点」「場」としての（日本語）教育

実践 (1)

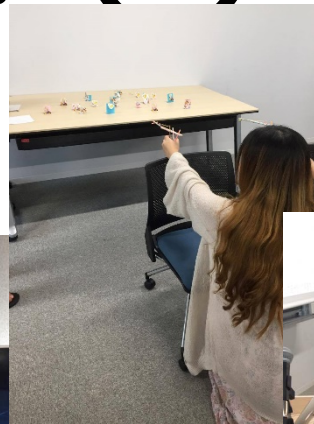


いわゆる「日本文化」体験

吉祥寺のおすすめスポット

留学生・非留学生の共修

実践 (2)



短期留学生向け
ワークショップデザイン



学ぶことをデザインすること

実践 (3)



専門家の話を聞き
リサーチ課題に取り組む

テーマ設定
情報収集
リサーチクエスチョン
根拠・論拠の明確化

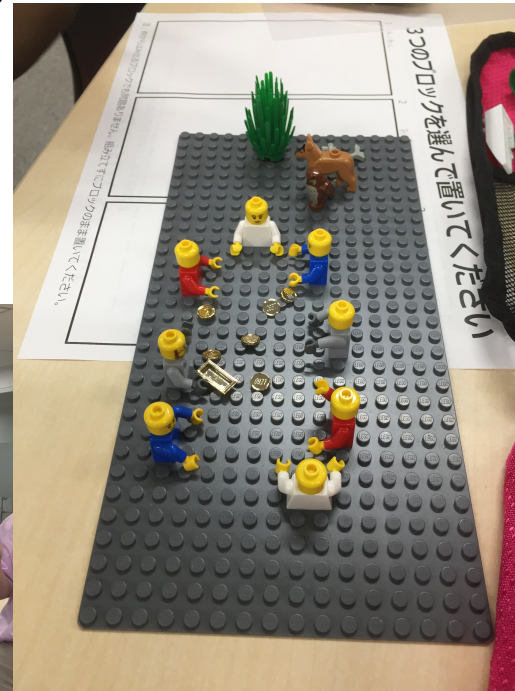
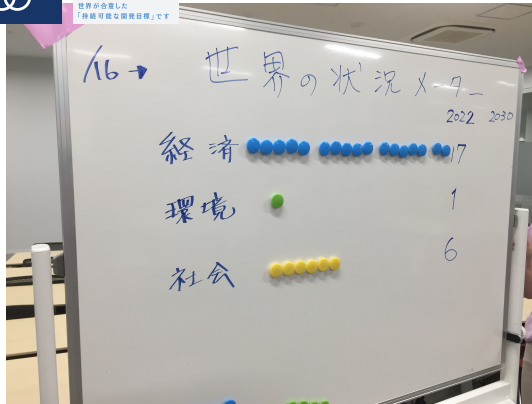
論理的に思考し発信すること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



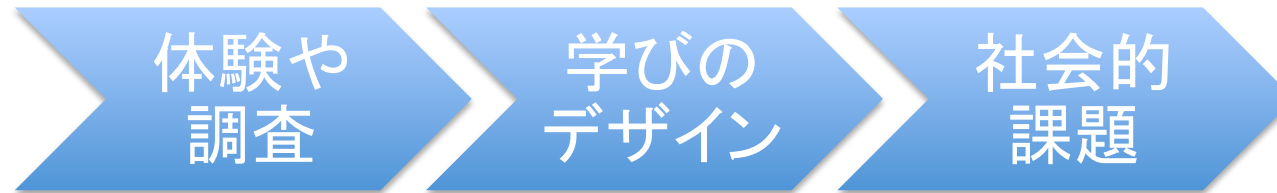
実践 (4)

SDGsをテーマにした
グローバルプロジェクト



自分の課題から世界の課題

- **弱CCBIから強CCBI**



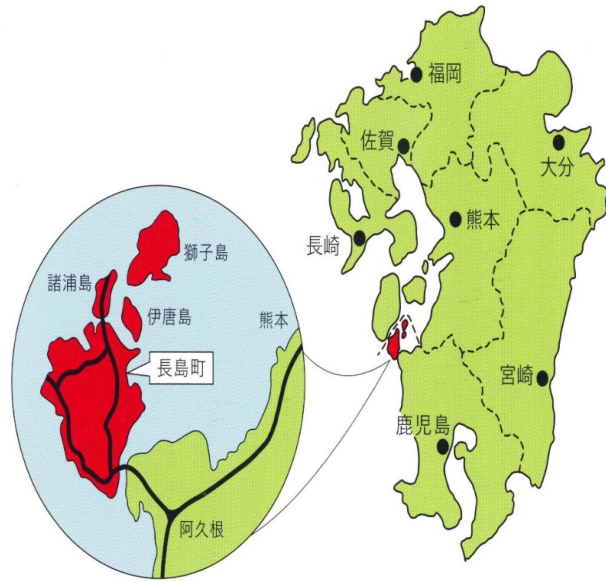
- **リフレクションの深まり（実践の改善）**



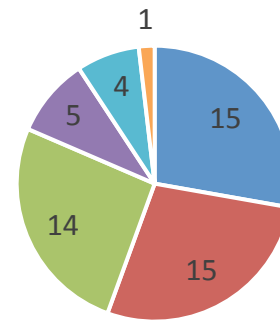
ベトナムでの日本語学習支援

- **teachingからlearning**
- **教師の視点の変更・拡張**
- **教材・素材の提供と具体的なコンサル**

地域の日本語教育



在留資格別割合（人数）



- 技能実習2号口
- 永住者
- 技能実習1号口
- 日本人の配偶者等
- 技術
- 教育

